

# 姫路医療センターさくらんぼクラブ通信

さくらんぼクラブは、がん患者さんとご家族のための会です 2011年11月 第21号

## 10月のさくらんぼクラブ

10月28日のさくらんぼクラブは、過去最高の18人の参加者で大賑わいでした。これまで通りの自己紹介・近況報告を話していくという進行もスムーズにはいかず、話し足りないと思われた方には申し訳なく思います。その時々で集まる人数や目的が違うため、なかなか型通りには進みません。でもそこが面白いところでもあるのですが…。

さくらんぼクラブへ行こうと思う目的とは、「同じ思いを共有できる人に会えるかもしれない、話が聞けるかもしれない」ということかもしれません。だとしたら、参加者が多いとそんな人に会う確率も高くなります。

限られた時間内で参加して下さった方の気持ちを受け止めるためには、どういうふうに会を進行させていけばよいのか、それが現在のさくらんぼクラブの課題です。

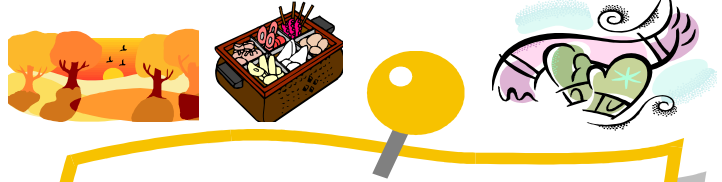


さて、今回久しぶりに顔を出して下さった方がありました。患者だったというご主人が今夏お亡くなりになったそうです。そのご主人が参加された時にお目にかかったことのある人達も数名来ており、ご主人のことを思いながら奥様の話を聞きました。いつも二人三脚で病に向き合っておられたのが印象的だったご夫婦でした。

まだ小さいお子さんを育てている方、仕事をする中での困りごとを抱えている方など、話すだけでは解決できませんが、でも「わかるわ!」「私も!」と、聞いてもらえるだけでも楽になることもあります。

中には自分の身に置き換えて聞くうちに、ちょっと辛くなってしまふ方もあるかもしれませんが、さくらんぼクラブでは少し離れたテーブルで、いつも手作業や川柳など、何かしら楽しいことをやっているの、そちらに移動して呼吸を整えていただくことができます。

そこはいつも笑い声が絶えませんよ!



## 今後のさくらんぼクラブの予定

2011年11月25日(金)

2011年12月22日(木)

12月23日は祝日のため、前日に変更します。

2012年1月27日(金)

2012年2月24日(金)

2012年3月23日(金)

時間は **10:00~12:00** です

## 病気の夫との接し方への悩み



夫は抗がん剤の副作用がきつくて、機嫌が悪いことが多いんです。そういう時、どんなふうに接してあげたらよいのかわかりません。

夫が患者だという女性からのご相談を聞いて、側に座っていた同じ部位のがんの女性患者が、患者の立場でその経験をお話してくれました。

私も副作用が強かったわ。私は放っておいてほしかった。でも、その頃の気持ちって、あっという間に忘れてしまうんですよ。



さくらんぼクラブ通信は、さくらんぼクラブ会員である患者さんやそのご家族の体験・言葉で構成され、姫路医療センターがん相談支援室が発行しています。

今月の絵です！



がん相談支援室の絵が変わりました。ここはどこなんだろう…と、つい見入ってしまいます。

先月はご紹介スペースがなかったのですが、大きな大きな水色の絵でした。

Hさん、いつもありがとう！

パンフレット作成中！

～さくらんぼクラブ参加者Hさんより～

さくらんぼクラブ通信をお読みくださり、ありがとうございます。

さくらんぼクラブは、誰もが自由に参加して気軽におしゃべりできる場所です。患者さんご本人はもちろん、ご家族の方も参加されています。

しかし、初めて来られる患者さんがよくおっしゃるのが「もっと早くさくらんぼクラブの存在を知りたかった。」「がん相談支援室の看護師さんに聞いて初めて知った。」などなど…。発足後 4 年経過しましたが、まだまだ知名度は低いかもしれません。

そこで、読売新聞正力厚生会の助成金(さくらんぼクラブ通信 15,16 号をご覧ください)を利用し、広くさくらんぼクラブを知っていただくため、ご案内のパンフレットを作成することになりました。

先日、そのパンフレットの中身を話し合うため、さくらんぼクラブ初の試み「院外で会食をしながらのミーティング」を行いました。さくらんぼクラブ発足当時のメンバー、ここ最近毎回参加している人たち、そしてがん相談支援室からMさんも参加してくれました。パンフレット作成について、いろいろな意見が飛び交い、内容の濃い 2 時間となりました。

このパンフレットは年内には完成する予定です。たくさんの人たちにご覧いただけることを、さくらんぼクラブ一同、期待しています。

ルールブックができました！


さくらんぼクラブの参加者が多くなるにつれ、ルールの書面化が必要なのではないかと考え、ルールブックを作成することになり、この度完成しました。

「ルールブック」とは、集まった人たちを取り締まるためのものではなく、誰もが気持ちよくお話できるようにとの意図から作ったものです。

- ① さくらんぼクラブ参加者は患者と家族であり、医療従事者ではない。
- ② 病名、自分の名前などは必ずしも言わなくてもよい。
- ③ 話したくなければ聞くだけでもよい。
- ④ 自分が知っている・経験した医療の知識がどの人にも当てはまるわけではないことを理解し、自分の考えや知識を押しつけない。
- ⑤ 特定の物品の宣伝・販売は禁止。
- ⑥ 宗教・政治活動はお断り。

以上のことを参加するものの心得として載せています。また開催する側として、個人情報保護の方針も記載しました。さくらんぼクラブ通信には個人を特定する形では載せないことや、通信に載せることを拒否することもできることなども盛り込んでいます。

このルールブックは、さくらんぼクラブがよりよいものになるよう、改訂していきたいと思えます。ご意見がありましたらどうぞお寄せください。

(がん相談支援室  より)